



## 社長メッセージ

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より当社 Medicinova に格別のご支援とご理解を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は、重篤な疾患に苦しむ患者様に新たな治療の可能性を届けることを目指し、主要な開発プログラムにおいて着実な進展を続けています。2026年上半期においては、研究プロジェクト、パイプライン開発、知的財産ポートフォリオの強化、ならびに投資家の皆様へのIR/PR活動において複数の重要な進捗がありました。ここに、その概要を改めてご報告申し上げます。

### 研究開発のハイライト

#### MN-166 (イブジラスト)

#### ALSを対象とする Expanded Access Protocol (拡大アクセスプロトコール) 臨床試験で目標患者登録数の50%に到達

米国国立衛生研究所 (NIH) からの研究資金提供による筋萎縮性側索硬化症 (ALS) を対象とする SEANOBI-ALS 試験 (NCT06743776) において、本年1月時点で米国12施設が参加し、100名の患者 (登録予定数50%) が登録されたことを発表しました。

#### MN-166 (イブジラスト) の新たな米国特許の承認通知

当社は、膠芽腫 (グリオブラストーマ) の治療を目的とした MN-166 (イブジラスト) と免疫チェックポイント阻害剤 (具体的には抗 PD-1 抗体) との併用に関する特許出願について、米国特許商標庁より特許査定通知を受領しました。今回の特許査定は、当社の併用療法開発戦略を支える知的財産基盤をさらに強化するものと期待されます。本特許の満了日は、2042年9月以降となる見込みです。査定されたクレーム (特許請求の範囲) は、イブジラストと複数の抗 PD-1 抗体との併用だけでなく、投与期間、投与頻度、投与経路、投与量、投与スケジュールなど、広範な治療条件を網羅しています。

#### イブジラストの脳転移抑制効果に関する研究成果発表

スペイン国立がん研究センター (CNIO) の研究チームは、固形腫瘍における脳転移における重要な要因として、腫瘍細胞から分泌されるマクロファージ遊走阻止因子 (MIF) が、脳内のミクログリアや浸潤 CD74 陽性マクロファージを再プログラムし、本来は宿主に対して防御的な役割を担う免疫細胞が、逆に、がん転移を促進する役割へと転換することを示しました。査読付き学術誌『Cancer Research』(2026年3月) に掲載されたこの研究では、脳への移行性が高い低分子化合物イブジラストを用いて、この経路を薬理的に制御できることが示されています。さらに、動物モデルにおいて、イブジラストが MIF-CD74 シグナル伝達を効果的に遮断し、転移を促進する免疫リプログラミングを逆転させ、脳転移の増殖を抑制できることを示しています。

MN-001 (タイペルカスト)

## フェーズ2臨床試験での最終患者最終来院 (LPLV) の完了

2型糖尿病 (T2DM) に伴う高トリグリセリド血症および非アルコール性脂肪肝疾患 (NAFLD) の治療薬としてMN-001(タイペルカスト)を評価するフェーズ2臨床試験のMN-001-NATG-202 (NCT05464784) において、最終被験者の最終来院 (LPLV) が完了しました。MN-001-NATG-202 試験は、MN-001 (タイペルカスト) を評価する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照試験です。トップラインデータは2026年第3四半期に得られる見込みです。

## IR/PR 活動について

### 新たな3名のアナリストが当社のカバレッジを開始

今年に入り、新たに3名のアナリストが当社のカバレッジを開始しました。現在当社をカバーしているエクイティ調査会社およびアナリストは以下の通りです。

H.C. Wainwright & Co. - Lander Egaña-Gorroño  
Maxim Group - Jason McCarthy  
Lucid Capital Markets - Elemer Piros  
D. Boral Capital LLC - Jason Kolbert

### BIO 年次総会への参加

当社は米国のサンディエゴで6月22日から開催されたBIO年次総会において、複数の関連企業とのミーティングやネットワーキングイベントに参加しました。

## 最後に

2026年後半に向けて、当社は財務規律を維持しつつ、主要な開発マイルストーンの達成に向けた取り組みを一層推進してまいります。特に、2026年末から2027年初頭には、ALS (筋萎縮性側索硬化症) を対象とした「COMBAT-ALS」フェーズ2b/3臨床試験のトップラインデータ発表という重要な節目を控えています。

私たちは、重篤な疾患に苦しむ患者様の生活の向上に貢献し、株主の皆様のために長期的な価値を創造することに引き続き尽力してまいります。今後の進展については、随時お知らせしてまいります。

MediciNova チームへの変わらぬご支援に心より感謝申し上げます。

以 上

2026年6月30日

MediciNova, Inc.  
代表取締役社長兼 CEO  
岩城裕一